「ともに生きる力」を育むために

祉教育連絡

~すべての小・中学校での授業実施をきっかけに~

昨年度、これまで念願だった"町内すべての小・中学校での「ふくしの授業」実施"を実現する ことができました。長い時間がかかりましたが、先生方や当事者のゲストの方々、地域や事業所 の協力を得ながら、みんなで創り上げてきたこの時間はかけがえのないものです。だからこそ、 今、みんなで集まって話がしたい!そうして「福祉教育連絡会」が誕生しました。

学校での福祉教育の推移

	小学校	中学校	保育所	計
令和元年度	3	1	0	4
	21	12	0	33
令和2年度	4	0	0	4
	47	0	0	47
令和3年度	5	1	0	6
	58	8	0	66
令和4年度	5	1	0	6
	51	10	0	61
令和5年度	5	1	0	6
	61	4	0	65
令和6年度	5	2	1	8
	62	7	1	70

※上段は実施校数、下段は授業のコマ数

 \mathcal{O} ま す。 町 の現状を知り、 だからこそ、 /<u>|</u>\ さまざま 中学生

業を ると町の外で過ごす時間が長くな ん。 私 を持つことができました。 0社協と学校、または学校間 たちの町には、 想いを共有したことで、 子どもたち 緒につくる」という共通 は、 高校があり 高校生に i で 互 な ŧ

社 協 つながりを作れたら 0 思 が 伝 わ つ た

意見を伺いました。 協と行う授業や連絡会に対する 6 を伝え、各校の先生方から めての連絡会では、 「ふくしの授業のねらい 社協 P 膱 想

/参加した先生から

社会福祉協議会と一緒に!

内浦小学校 4年生担任 城

宣人 先生

福祉教育連絡会は、例年にはない取り組みとのことでしたが 日頃交流する機会が少ない他の小・中学校と情報の共有を図る ことができ、学校の希望にできる限り応えようとしてくださる 社会福祉協議会の話も伺うこともできました。私もその言葉や 思いを参考に、子どもたちにとって有意義な時間を作りたいと 考えました。学校や児童の実態に応じた活動内容を考えて くださっていることに感謝しています。今後も児童の ことを一番に考え、社会福祉協議会のみなさんと ・緒に取り組みを進めていきたいと思います。

な人や 祉教育に取り組みます。 そんな思いを込めて、 この町を好きになってもらいたい ことがある。そしてこれから先も、 ふくしの授業」での学びを思 子どもたちだからこそ、 7 助けあいや支えあい 町 体験との出会いを通 の未来を担ってほ みんなで できる O

福祉法人 日本傷痍者

高齢者部門

特別養護老人ホーム 居宅介護支援事業所 デイサービスセンター

通所リハビリテーション 訪問リハビリテーション

恵の家

いこいの里 更生会

にじの郷

ショートステイ ふれ愛 小規模多機能型 居宅介護事業所 ゆい

サービス付き 高齢者向け住宅 クレア デイサービス ヘルパー事業所

子ども部門

児童養護施設 小規模保育所 報恩母の家 ひよこ保育園

里親支援センター

放課後等デイサービス 学童ふれ愛 リンク

児童発達支援センター くすのき

障がい者部門

障がい者支援施設 就労継続支援B型

希望舎 相談支援事業 リアン

9

高齢者・障がい者・児童のことなら何でもご相談ください♪